

趣意書

東日本大震災から七年、「福島を元気に！」を合言葉に努力してきた成果が、様々な分野で目に見える形として現れてきております。本協会の活動がその一助となり、バスケットボールを通しての人間形成、自己実現を成し遂げる力を育めるよう、中・長期的展望を持って活動に取り組んでまいります。

さて、本協会は、本県バスケットボールの競技力向上のため選手強化、指導者育成、競技の普及等、多様な活動に取り組んでおります。特に、強化事業に関しては今以上の躍進を強く目標に掲げ、選手のみならず、指導者育成のための環境整備に尽力して参ります。昨年度は、各チームの選手、指導者、関係者の不断のご努力により、成年、高校、ジュニア、ミニともに、ブロック大会や全国大会において、他都道府県を凌駕する戦績を残しております。特筆すべきは愛媛県で開催された国民体育大会に成年男女、少年男女の全種別が出場を果たしたことです。平成7年ふくしま国体以来の快挙であり、また成年男子、少年男子は5位入賞と素晴らしい成績を残しました。

本協会の組織再編の過渡期にある今、福島県がより一層の躍進を遂げるため、本協会は各カテゴリーとの連携を強化し、段階的かつ一貫した強化推進事業や、運営組織体制の整備をさらに進めてまいります。

そこで、本年度も平成二十五年度より継続して実施している、本協会独自の財源確保事業の一つとして、「チーム福島応援グッズ」を今年度も実施いたします。チーム単位での注文や各種大会での店頭販売による益金であります。一昨年度より、新小学4年生、新中学1年生、新高校1年生と、新たなカテゴリーでバスケットボールを始めようとする学年の方には、特に購入をお願いしているところであり、今年度も同様に協力いただけますようお願い致します。これまでの益金はU12、U13の強化事業への補助と、指導者育成のためのコーチコミッテイーの運営費補助など、多岐にわたり様々な活動に有効活用しております。ミニバスケットボールから一般までの、福島とバスケットボールを愛する競技者の皆様、指導者の皆様、関係各位の団結を強くすることもグッズ販売の一つのねらいとしております。本協会の使命である、「バスケットボールを通じた健全な人間育成」などの社会貢献をさらに推進するため、趣旨にご理解とご賛同をいただき、格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成三十年四月吉日

福島県バスケットボール協会

会長 佐藤 洋光